

2019年7月1日

関係 各位

きょうされん秋田支部
支部長 鶴谷 春美
(公印省略)

きょうされん
全国理事 澤田 修明
(公印省略)

きょうされん40周年記念映画上映案内及び協力依頼について

向夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、障害者運動にご理解とご支援をいただき衷心より御礼申し上げます。さて、私ども「きょうされん」(旧共同作業所全国連絡会)は、障害のある人やその家族の願い「働く場が欲しい」の実現に向けて、小規模作業所づくりを進めてきた関係者により1977年に結成されました。

現在では、障害のある人たちが働く事業所やグループホーム等、全国約1860カ所の会員で構成されております。

秋田支部は2007年に全国35番目の支部として誕生し、国会請願署名運動や地域で抱える問題の解決に取り組んでおります。

きょうされんでは、結成から10年おきに記念映画を製作上映し、障害福祉への啓蒙へ繋げています。

そして、今回は結成から40年の節目を迎えての記念映画を製作しました。

映画「星に語りて～starry sky～」

2011年3月11日に起きた東日本大震災では、障害者の死亡率が一般市民に比べ約2倍以上高かったことが判明いたしました。

天災は誰にでも平等に襲ってきますが、障害者の死亡率が2倍以上高いと言う現実には平時から社会にたくさんの問題が埋もれていたと言えます。

また、この映画では東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸部での障害者支援団体による支援活動や、災害時における「個人情報保護」などについても触れており、これらを通じてあの震災を検証する事が、これからの障害のある人の災害時支援に繋がるものと考えております。

また、この映画は出版社「汐文社」によって小説化も決定しました。

きょうされんが、構想から4年の歳月をかけて制作したこの映画を障害のある人や関わりの深い人はもちろんのこと、より多くの市民の方々にご鑑賞いただければと願っております。

つきましては、今回「星に語りて」を貴市においても下記の通り上映致しますので、より多くの皆様へご案内いただきますようご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1. 上映映画 きょうされん40周年記念映画「星に語りて～Starry Sky～」

2. 上映期間 2019年7月～2020年12月

上映期日・上映会場が決定次第、ポスター、チラシを配布

3. 上映会場 秋田県内13市ほか学校・企業・地域での自主上映も歓迎

4. チケット 一般 1,200円

障害者割引 1,000円

子ども(小学生) 800円

*チケットは、きょうされん秋田事務局ほか協力団体でも取り扱い予定

5. 後援 秋田県・秋田県教育委員会・秋田市・社会福祉法人秋田県社会福祉協議会・秋田魁新報社・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・国際ソロプチミスト秋田・(公益社団法人)秋田青年会議所・秋田県中小企業家同友会・秋田県障害福祉団体協議会(順不同)

6. 主催 きょうされん(旧共同作業所全国連絡会)秋田支部

<お問い合わせ先>

〒010-0823 秋田市山内字上台15-2

きょうされん秋田支部(杉の木園内)

事務局電話 018(827)2310

FAX 018(827)2311

担当 伊藤雅人・澤田修明・進藤香代子

きょうされん40周年記念映画「星に語りて～S t a a r y S k y～」紹介

きょうされんは、結成42年目となりますが10年の節目ごとに映画づくりと上映運動を行っています。

40年の記念映画として、東日本大震災の際に過酷な状況に置かれた障害者や支援者らの姿を描いた映画が完成し全国各地で上映されています。

プロの俳優とともに、素人の障害者4人も熱演しています。

震災時に、迷惑をかけるからと避難所に行かなかつたり、避難しても心無い言葉を投げかけられて自宅に戻らざるを得なかつたりした障害者もいました。

また障害者の死亡率が一般市民に比べ約2倍以上高かったことも判明しました。そんな過酷な状況や、個人情報保護が支援の壁になった事実を知ることによって災害をリアルに考えるきっかけにして欲しい、被災した障害者が直面する現実を知ってもらい、未来の備えにも役立てて欲しいとの願いを込めて、きょうされんが4年の歳月をかけて制作しました。

脚本家、山本おさむさんが何度も被災地に足を運び取材した証言と実話に基き、災害時に孤立する障害者とその家族、そして支援に奔走する人々の姿を軸に作り上げました。

秋田県においては、きょうされん全国理事であり社会福祉法人一羊会統括管理者の澤田修明氏は、3月18日きょうされん被災障害者対策本部の会議に出席、岩手支援責任者として19日から久慈市、野田村、譜代村、田野畑村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、遠野市、大船渡市、陸前高田市、一関市、奥州市、北上市など岩手県のほぼ全市町村の現場視察を行い、余りにも悲惨な状況を目の当たりにし、翌週には一羊会全職員交代での支援派遣を決定、震災直後から物資輸送、支援センターの立ち上げ（宮古市、遠野市、陸前高田市）、2名体制での支援調査活動、中古車輛の寄贈、炊き出し、半年間の支援センター事務局員派遣など5年間の支援を継続しました。

きょうされん秋田支部や他団体のみなさんからも、たくさんの支援協力をいただきました。

こうした情景も描かれております。

また、この映画は、今年に入り出版社「汐文社（ちょうぶんしゃ）」により小説化も決定しました。

そして、今回は秋田県内13市での上映が決定しましたので、ご家族、友人、知人の皆様をお誘いのうえご鑑賞いただきますようご案内申し上げます。

さらには、地区外での上映呼びかけにもご協力いただければ幸いです。

2019年6月

きょうされん秋田

きょうされん40周年記念映画「星に語りて」上映スケジュール

主催 きょうされん秋田

後援 秋田県・秋田市・秋田県教育委員会・社会福祉法人秋田県社会福祉協議会・秋田魁新報社・公益社団法人秋田青年会議所・国際ソロプチミスト秋田・秋田県中小企業家同友会
秋田県障害福祉団体協議会・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送
(順不同)

2019.6.22 現在

月 日	会 場	席数	地 区	上映時間(予定)
7月13日(土)	杉の木園	100名	秋田市	10:00~12:00 (自主上映)
7月20日(土)	北秋田市文化会館	600名	北秋田市	14:00~16:00
7月21日(日)	御成座	200名	大館市	10:00~12:00 13:00~15:00 2回上映
8月31日(土)	能代山本広域交流センター	300名	能代市	14:00~16:00
9月 7日(土)	鹿角市交流センター	300名	鹿角市	13:00~15:00
9月21日(土)	湯沢市文化会館	200名	湯沢市	14:00~16:00
10月12日(土)	西目公民館シーガル	300名	由利本荘市	14:00~16:00
10月13日(日)	美郷町公民館	400名	美郷町	14:00~16:00
10月19日(土)	男鹿市文化会館	300名	男鹿市	14:00~16:00
11月 2日(土)	仙北市角館交流センター	200名	仙北市	14:00~16:00
11月15日(金)	にぎわい交流館 Au	240名	秋田市	14:00~16:00 18:00~20:00 2回上映
11月16日(土)	潟上市防災・健康拠点施設 トレイクかたがみ	240名	潟上市	14:00~16:00
11月30日(土)	横手ふれあいセンター かまくら館	300名	横手市	14:00~16:00
12月 7日(土)	大仙市大曲交流センター	300名	大仙市	14:00~16:00
12月21日(土)	仁賀保勤労青少年ホール	300名	にかほ市	14:00~16:00

※チケット料金 大人1,200円 障害者割引1,000円 子ども(小学生)800円

※その他、施設、学校、団体、企業、町内等での自主上映も随時受付致します

<お問い合わせ先・チケット取扱い先>

きょうされん秋田支部(杉の木園内)

〒010-0823 秋田市山内字上台15-2

事務局 電話 018(827)2310

FAX 018(827)2311

担 当 伊藤雅人・澤田修明・進藤香代子



2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

星に語りて

Starry Sky

きょうされん40周年記念映画

松本 勲 監督作品

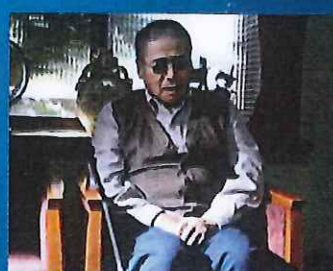
出演/要田禎子 螢雪次朗 今谷フトシ 植木紀世彦 枝光利雄 菅井 玲 入江崇史 宮川浩明 生島ヒロシ 赤塚真人
製作統括/西村 直 企画/藤井克徳 脚本/山本おさむ 音楽/小林洋平 プロデューサー/新井英夫
撮影/鈴木雅也 照明/古橋孝映 録音/西岡正巳 美術/津留啓亮 編集/古賀陽一 スクリプター/山下千鶴
衣裳/杉本京加 ヘアメイク/清水美穂 ラインプロデューサー/赤間俊秀 助監督/佐藤 吏 制作担当/富田政男
制作プロダクション/ターゲット 製作/きょうされん (2019年/115分)

2011年3月11日

障害者の状況と 支援者の活動を描く 劇映画

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性の所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一步を踏み出そうとしていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していった。



きょうされんは、1977年に障害のある人の願いをもとに16カ所の共同作業所によって結成されました。現在、約1,870カ所の障害者事業所が加盟とともに活動しています。きょうされんでは、これまでに4回の映画製作・上映活動を続けてきましたが、40周年記念事業として製作された、今から100年前に精神病者を救おうと奔走した呉秀三の功績を描くドキュメンタリー映画「夜明け前」に次ぐ5

回目の今作品は、大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描く劇映画です。

2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震。東日本大震災による傷跡は、未だに人々の心の中に深く刻まれています。しかし、1万8千人を超える死者・行方不明者の中で、障害のある人の死亡率が全

住民の2倍だという事実を知る人は少ないのではないのでしょうか。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を山本おさむ氏の脚本と新進気鋭の松本勳監督によって描き出す群像劇です。実力派俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し、人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

脚本 山本おさむ (長崎県出身の漫画家)

代表作: 「そばもん ニッポン蕎麦行脚」「どんぐりの家」(日本漫画家協会賞優秀賞)「赤狩り」

監督 松本勳

(石井隆、松尾昭典、山崎貴、高橋伴明らの助監督を経て、近年では大林宜彦の監督補佐を務める傍ら、中・短編映画を撮り続け、各映画祭等での受賞数多数)

【主催】 きょうされん秋田支部

【後援】 秋田県・秋田市・秋田県教育委員会・社会福祉法人秋田県社会福祉協議会・秋田魁新報社・公益社団法人秋田青年会議所・国際ソロプチミスト秋田・秋田県中小企業家同友会
秋田県障害福祉団体協議会・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送 (順不同)